

学術団体名：日本動物行動学会  
学術刊行物の名称：Journal of Ethology  
事業期間：平成30（2018）年度～令和4（2022）年度

## 1 取組の概要

### ・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

日本動物行動学会の学会誌Journal of Ethology（JE）誌において被引用頻度が高いビデオ論文（Video Article）と総説（Review Article）に重みを置きながらOA化を実施することで、本誌の特色と強みを最大限に活かしながら効果的に国際情報発信力を強化する。加えて、それらのOA論文についてソーシャルメディアで視聴可能な研究紹介ビデオを作成し、発信する。この取組により、本誌の学術的インパクト（IF）と社会的インパクト（Altmetric）を同時に高めることを目標とする。

### ・応募時に設定した取組の目標・評価指標

助成期間3年目の中間評価時には、JE誌のインパクトファクター（IF）値を1.3まで上昇させる。また、学術研究の社会的インパクト指標Altmetric値は2016年時点の468の約2倍の1000を目標とする。本助成終了時にはIF値を1.5まで、あるいはZoologyカテゴリーで上位30%以内のランクに上昇させ、Altmetric値を2000まで向上させることを目標とする。

なお、上記の新たな取り組みについては、これまでに構築したJE誌の国際的な編集体制、国際誌としての論文の質の保証・維持、JE論文賞によるインセンティブの提供などの維持・継続等を基盤として推進させる。

## 2 目標の達成状況

### ・現在までの目標の達成状況

現在までの目標の達成状況：当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。2018年発行のVol. 36では31本の掲載論文から8本のOA論文（うちビデオ論文2本）を、2019年発行のVol. 37では53本の論文から6本のOA論文（うち総説1本、ビデオ論文1本）を選出し、本助成による公開発信を実施した（図1）。また、論文著者の協力のもと、ビデオ編集制作部会がOA論文の研究紹介ビデオを作成し、Vol. 36掲載論文から3～4分程度の動画10本をYouTubeチャンネル（<https://www.youtube.com/channel/UCrGCbqqg-xQbWaecktRt03g>）上で公開している（図2）。さらにVol. 37から6本の論文を選定しビデオ編集制作部会において動画を作成中である。現在88名が当チャンネルを自らのリストに登録している。昨年度に発表された最新のJE誌のIFは1.423（2018年度）であり、助成期間3年目の中間評価時の達成目標である1.3を上回って過去最高となった。IFは2016年の1.061から右肩上りに上昇しており、本取組により今後も上昇することが期待できる（図3）ものの、同じく最新のAltmetric値は427と目標値を下回っている。

### ・今後の計画

今後においては、当該分野において注目を集めている話題に関する特集を組んだり、総説の投稿を招待したりするなどの雑誌の魅力高める工夫をしていきたい。また、これまでと同様に、各年度のOA論文について研究紹介ビデオの作成と公開を進める計画である。このような試みを続けることにより、社会への情報発信をさらに進めることができるだろう。

